

通し番号	3872
------	------

分類番号	13・7B・22・18
------	-------------

(成果情報名) 平成12年度鶏の組合せ検定試験	
[要約] 国産優良実用鶏を作出するため、系統間交雑種的能力検定を実施した。卵質やパック卵の生産量では外国鶏と同等かそれ以上の能力を有するが、生産性では外国鶏より劣り早急な改良が望まれる。	
(実施機関・部名) 畜産研究所・畜産工学部	連絡先 046-238-4056

[背景・ねらい]

わが国の国情にあった優良実用鶏を作出するため、国と各県が連携して、系統造成、系統間雑種、交雑種的能力検定を実施している。

[成果の内容・特徴]

- 1 50%産卵到達日齢は(表1)、外国鶏が137.8日で国産鶏との間で有意に早く到達した($P<0.05$)。
- 2 産卵率は(表1)、外国鶏85.2%に対して国産鶏は80.3~73.9%で有意に低かった($P<0.05$)。
- 3 産卵率の推移では、外国鶏が全期間にわたって高値で推移した(図1)。
- 4 飼料要求率の推移では、対照区が48週齢以降国産鶏より優れていた(図2)。
- 5 パック卵比率の推移では、試験全期間にわたって2、6区で外国鶏より生産量が多かった(図3)。

[成果の活用面・留意点]

- 1 外国鶏と生産性及び卵質の比較をしながら国産実用鶏の能力向上を行っていく。
- 2 本県に適した系統の組合せを検索していく。

[具体的データ]

表 1 産卵期の成績(20～80週齢)

鶏種 項目	1区 (ホリス・ラウン)	2区 BK×Y8	3区 Y8×L17	4区 Y8×C2	5区 E4×XS	6区 S52×Y8
50%産卵到達日齢	137.8 ^a	139.8 ^b	144.5 ^b	143.8 ^b	148.5 ^c	145.3 ^{bc}
産卵率(%)	85.2 ^c	78.8 ^b	80.3 ^b	73.9 ^a	74.5 ^a	79.3 ^b
平均卵重(g)	66.9 ^{bc}	64.0 ^{ab}	65.6 ^a	66.5 ^b	70.1 ^d	68.3 ^c
日産卵量(g)	54.6 ^d	49.4 ^b	50.2 ^{bc}	47.3 ^a	50.1 ^{bc}	52.0 ^c
飼料摂取量(g/日)	117.5	116.0	115.1	116.7	115.4	115.3
飼料要求率	2.15 ^a	2.39 ^{bc}	2.32 ^b	2.49 ^c	2.34 ^b	2.25 ^{ab}
生存率(%)	97.9	94.5	95.8	89.3	96.7	96.0
43週齢体重(g)		2,114	2,214	2,094	2,018	2,211

異符号間に有意差あり(P<0.05)

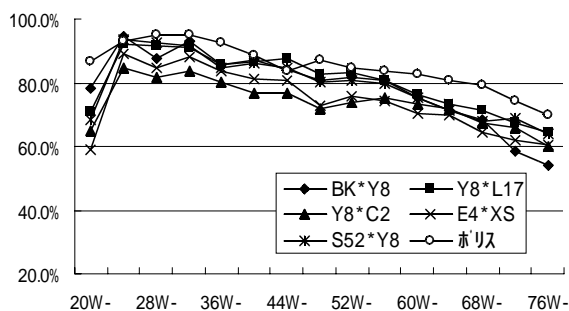


図 1 産卵率の推移

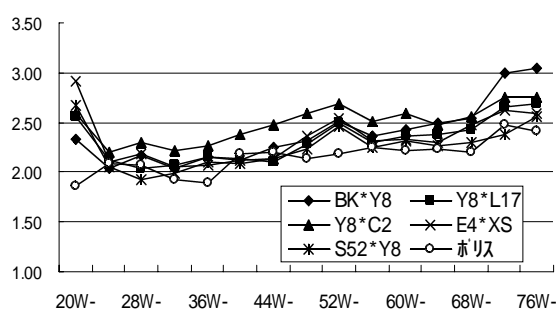


図 2 飼料要求率の推移

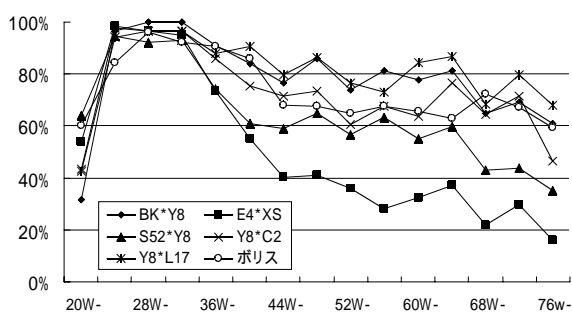


図 3 パック卵比率の推移

[資料名] 平成13年度試験研究成績書(繁殖工学・養鶏)

[研究課題名] 優良種鶏の組合せ検定

[研究期間] 平成12～13年度

[研究者担当名] 引地宏二・青木 稔